

健育会グループ 第9回TQM活動発表セミナー【演題④】

演題名	しおさいにおける夜間入浴の実現		
施設名	介護老人保健施設しおさい	発表者(職種)	高木 錠児 (介護福祉士)
活動の種類	質・安全・能率・CS・モラル・コスト	取り組み種別	問題解決型・課題達成型
改善しようとした問題 課題	今までしおさいで日中の入浴を提供していましたが、新規短期入所ご利用者より夜間入浴の希望があったことから日中入浴への疑問を感じました。今回TQM手法を用いればそのとき感じた疑問を改善できるのではないかと活動を進めることにしました		
改善の指標とその目標値	(指標)夜間入浴の実現 (目標値)夜間入浴を希望するすべてのご利用者に夜間入浴を提供する		
実施した対策	夜間入浴に携わる全てのクライアントへ理解を求める。また夜間入浴を実現するため夜間帯の業務見直し、夜間帯の勤務見直しを主に対策を実施しました		
改善指標の対策実施前後の変化	(実施前)日中入浴 (実施後)夜間入浴		
チームの名称	輝きプロジェクト	リーダー名(職種)	佐藤 剣二 (介護士)
		チームの人数	7 名
活動状況	平成 25 年 12 月～平成 26 年 10 月	平均会合時間	60 分
	会合回数	22 回	平均会合出席率 90 %

【攻め所の明確化】

◎:5点 ○:3点 △2点

テーマ	項目	ありたい姿	現在の姿	ギャップ	攻め所	評価項目		総合評価	No.		
						ギャップ解消の可能性	期待効果				
夜間入浴を始めよう (特性実現させる項目手段系項目)	特性	夜間入浴の導入	100%	6%	94%	—	—	—	—		
	職員	職員の理解	職員全員が夜間入浴を理解する	職員全員が夜間入浴について理解不十分	0%	100%	夜間入浴について知識向上を図る	◎	◎	10	1
		職員家族の理解	職員家族に帰宅時間が遅くなることを理解してもらう	基本勤務が日勤体制の基本17時25分終礼	30%	70%	職員の不安をその都度傾聴を行い理解してもらう	◎	○	8	2
		職員家族の理解	職員家族に帰宅時間が遅くなることを理解してもらう	ご家族に夜間入浴で起こり得る帰宅時間が遅くなることを理解してもらう	30%	70%	ご家族に夜間入浴で起こり得る帰宅時間が遅くなることを理解してもらう	◎	○	8	3
	ご利用者	ご利用者への理解	ご利用者全てに夜間入浴の大切さを理解出来るよう指導する	ご利用者に夜間入浴の理解を指導していない	0%	100%	夜間入浴に興味を持てるようにする	◎	◎	10	4
		ご利用者からの希望	夜間入浴希望に沿う	夜間入浴希望の要望に答えられていない	0%	100%	ご利用者の希望で個別対応出来る	◎	◎	10	5
	環境	設備設定	夜間に入浴できるように循環器設定を見直す	夜間入浴の設定が出来ていない	0%	100%	循環器タイマーをセッティングする	◎	○	8	6
	業務	ルーチン業務見直し	夜間入浴が行える時間の確保	夕食後から19時30分まで下着交換	10%	90%	夕食後からルーチン業務見直し	◎	◎	10	7
時間	夜間入浴の時間確保	夜間入浴を行える勤務体制	日中入浴のための勤務体制	0%	100%	勤務体制の見直し	◎	◎	10	8	

【目標設定】

何を	夜間入浴を
いつまでに	平成26年10月までに
どうする	夜間入浴を希望するご利用者全員に夜間入浴を提供
根拠	夜間入浴を一から立ち上げ、しおさいの理念である「もう一つの楽しい家」に近づけるように考えている。よって、今回の目標を100%にすることにしました

健育会グループ 第9回TQM活動発表セミナー【演題④】

【方策の立案と実施】

方策の立案

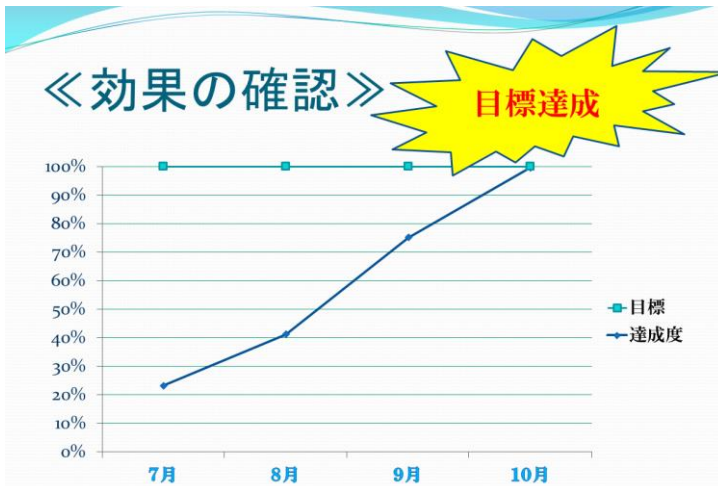
攻め所	方策案	重要性	実現性	効果性	総合評価	採否	No.
夜間入浴についての知識向上を図る	プロジェクトメンバーを立ち上げる	◎	◎	◎	15	採用	1
職員の不安をその都度確認を行い理解してもらう	入所ミーティングで意見交換する	◎	◎	◎	15	採用	2
	師長・入所主任に相談役割を担ってもらう	◎	◎	◎	15	採用	3
ご家族に帰宅時間が遅くなる日が増えることを理解してもらう	ご家族へ時間帯の提示、理解を求める	◎	○	◎	13	採用	4
ご利用者が夜間入浴に興味を持てるようにする	体験日を設け理解を持ってもらう	◎	◎	◎	15	採用	5
ご利用者の希望で個別対応出来る	ご利用者の希望を募る	◎	○	○	11	採用	6
循環器のタイマーをセッティングする	循環器のタイマーを夜間入浴時間にセット	◎	◎	◎	15	採用	7
夕食後のルーチン業務の見直し	夜間入浴時間をルーチン業務に入れる	◎	◎	◎	15	採用	8
勤務体制の見直し	夜間入浴の体制にする	◎	○	◎	13	採用	9



最適策の実施

No.	何を	誰が	いつ	どのように
1	メンバーに事務長を	看護師長が	6月末まで	加入してもらう
2	職員意見用紙を	佐藤が	6月末まで	作成する
3	師長・入所主任が相談を受けられる体制を	事務長が	6月末まで	取る
4	案内文を	高木が	6月末まで	作成する
5	体験夜間入浴日を	入所主任が	6月中旬まで	決定する
6	ご利用者アンケートを	眞田が	6月末まで	作成する
7	循環器のタイマーを	施設管理が	適宜対応	セッティングする
8	下着交換担当者を	佐藤が	6月中旬まで	決定する
9	早番業務を	メンバーが	6月末まで	1名から2名にする
10	日勤業務を	メンバーが	6月末まで	遅番に移行する
11	遅番業務を	メンバーが	6月末まで	勤務時間ズレを作る
12	夜勤業務を	メンバーが	6月末まで	入浴後水分補給行う
13	看護業務を	メンバーが	6月末まで	バイタルチェック、保清を行う

【効果の確認】



【標準化と管理の定着】

	なにを	なぜ	いつ	誰が	どのように
標準化	夜間入浴を	継続して実施する為に	随時	入所主任が	見直しを行う
	ご利用者の意見を	個別対応を叶える為に	随時	入所職員が	聞き取りを行う
管理	タイムスケジュール表を	円滑に夜間入浴を実施する為に	随時	業務委員が	改訂する
	入所マニュアルを	誰が見ても解る様に	マニュアル変更時	業務委員が	改訂する
教育	新人スタッフを	質向上の為に	新人スタッフ入職時	看護師長が	指導を行う

【反省と今後の進め方】

時期によって夜間入浴の印象が変わる。特に寒い日は気持ちの面で入浴したらないご利用者が出てきており、季節のことまで考えが至っていなかった

対策

寒くて風邪をひく不安を解消させるため、傾聴、夜間入浴の作用を何度か説明を行い、了承してもらっている。